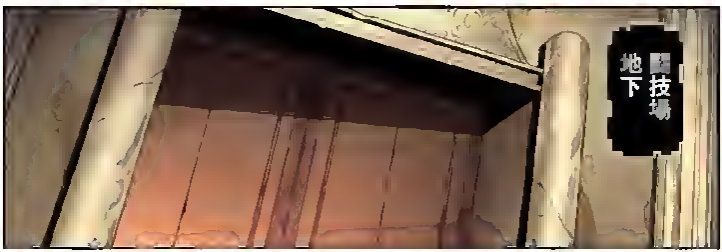
ダンジョンに出会いを求めるのは間違っているだろうか
2
[原作] 大森藤ノ
(GA文庫／SBクリエイティブ)
[原画] 九二枝
[キャラクター原案] ヤスダスズヒト

ウォォォォ…


闘技場
地下

何をしている
次の演目が始まるぞ!?
何故モンスターを
あげない!

なっ……

おおいっ
どうした!?

あ……あ

ヘラヘラ…

モンスターの毒？

いや違う
なんだこれは……や

ダンジョンに出会いを求めるのは間違っているだろうか

2

Will it be wrong to demand an encounter from dungeon?

Contents

STEP00 女神の寵愛 1
STEP09 ありたっけの勇気 25
STEP10 家族 49
STEP11 神様のナイフ 71
STEP12 パンプ・オブ・チキン 95
STEP13 雄たけび 119
STEP14 出会い 143

[原作] 大森藤ノ [漫画] 九二枝 [キャラクター原案] ヤスダスズヒト

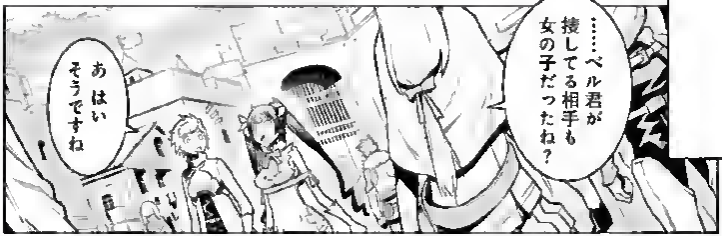
シィ…
動かないで？

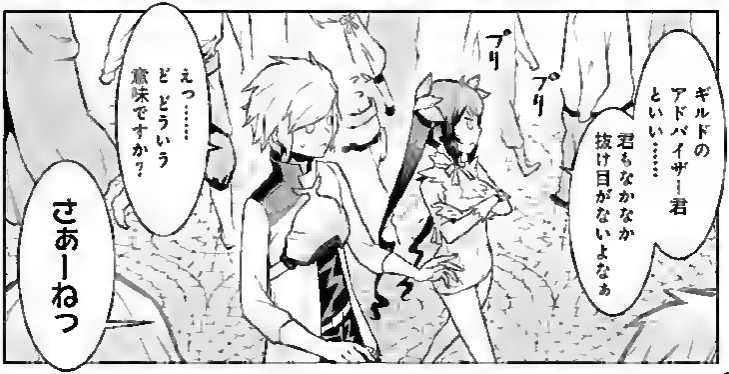
檻の鍵はどこ？
ありがとう

ガシャ
ガシャ
ガシャ

……貴方がいいわ
出てきなさい
ゲゥ…

あの子も ここに
来ている……
あの子の困った顔を
あの子の泣く顔を
何より あの子の「勇姿」を見たい
もし死んでしまったとしても 大丈夫
天界へと昇る魂を追いかけてあげる
抱きしめてあげる
だから
待っていてね？


……ベル君が
接してる相手も
女の子だったね？
あはい
そうですね


ギルドの
アドバイザー君
といい……
君もなかなか
抜け目がないよなぁ
プリ
プリ
えっ……
ど　どういう
意味ですか？
さぁーねっ

あの
神様――
ハッ
――？
……どうしたんだよ
ベル君？
……悲鳴？

モ モンスターだぁあああああああああっ!?
ボロン
ボロン

ワオオオ

……ベ ベル君
この感覚……
ブル
ブル
ブル…

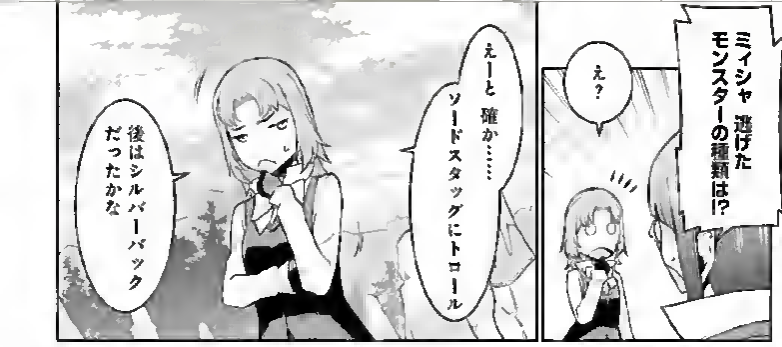
同じだ……
「ミノタウロス」と
遭遇（エンカウント）した時と……！

ガネーシャ様っ！
大変です
一大事です!?
――何を隠そう
俺がガネーシャだ！
いや知ってますよ!?
捕らえていたモンスターが
脱走しました！
……えっ
それは不味いだろう？
だから言ってるじゃ
ないですか!?
地下室の見張りが
倒されていて……
ギルド職員にも
被害が及んで
います！
おそらく外部犯が……
今は
犯人には構うな！
我々が今 最・優・先にするべきなのは
市民の安全を守ることだ！

放たれたモンスターの数は？
きゅ 9匹です
中には 熟練の冒険者でも手に負えないものも……
大至急モンスターを追わせろ！
それと……他の「ファミリア」にも協力を要請してこい！
ま 待ってください!?これは私達の失態ですっ
他勢力の手を借りてはこちらの面目が……
俺は「群衆の主」だ！庇護すべき市民を傷つけさせてなるものか！
地位と名誉など捨て置け！
祭りは続けるぞ観衆は外に出すな！
混乱を招くような真似だけはしてくれるなよ！

モンスターが逃げた!?
西ゲート担当で見た人がいるって…
「ガネーシャ・ファミリア」も慌てて動き回ってるって……
どうしよぉ エイナぁ～っ
どこでもいい 手当たり次第「ファミリア」に連絡とって！
冒険者にも！
怒られるよぅ
そ そんな勝手なことしちゃってもいいの？
誰かが傷つくよりずっといい！
何かあってからじゃ遅いよ！
これはデートどころじゃないみたいやなぁ

神ロキ……
アイズ・ヴァレンシュタイン……！
ロキ
……もう遊んどる場合じゃないみたいやし
ガネーシャに貸し作っとこう
ええよ
で
モンスターはどこら辺うろついとるんや？
ほっ　ほとんどのモンスターが東のメインストリートの方へ……
東のメインストリート……ベル君達が向かった場所!?


ミィシャ 避けた
モンスターの種類は?
え?
えーと 確か……
ソードスタッグにトロール
後はシルバーバック
だったかな

どのモンスターも
11階層以上……
迷宮で死にかけた冒険者が
大刀打できる相手じゃない

ベル君……
お願いだから
避難していてよ……?

ゴロ
ゴロ
ゴロ
ドガガガ
ドガガガ
キャル
くそっ
何でこっちに!?
神様だけでも
遠ざけないと!

ガッ
ガッ
ドン
なっ!?
狙いは――神様っ!?

いっ……
ガキッ
ガッ

オラリオの住人たち

text by Fujino Omori
character rough by Kunieda

▶File 01

ベル・クラネル

主人公。【ヘスティア・ファミリア】所属。
育ての親の影響により、
ダンジョンに運命の出会いを求める
ヒューマンの少年。
英雄への強い憧憬を抱める。

オラリオの住人たち

text by Fujino Omori
character visuals by Kunieda

▶File 02

ヘスティア

処女神。【ヘスティア・ファミリア】主神。
信仰皆無の落ちこぼれの女神。
ベルの理解者であり、
同時に彼に強い神愛を抱く。

ドオオ
うわあ
ニア
がはっ！
あ……
……!?

あ……ぁ
ニャァァ
ニャァァ

ぐっ――
のぉおおおおおおおっ!!
ゴゴゴゴ
ドドド

キ!!
ギ!!
ギ!!...
うぐっ……!
ズ!!
ガーアア
ハッ
ギュ

ギャッ!?
ドゴン
パッ
うっ
わ!?
神様っ
こっちに!
ベル君!

大通りはまずいっ！
裏路地に入ります！
はっ
はっ
はっ！
モンスターの姿は見えない……
けれど
いるっ！
付いてきている……！

どうしてっ
神様が
狙われてるんですか!?
し 知るもんかっ
あんなのとは
初対面だよ!
ボクは何もしちゃ
いないっ!
!?
ベル君!
だめだっ!
えっ!?
こっちは——

『ダイダロス通り』……！
オラリオに存在するもう一つの迷宮
厳重なる区画整理で秩序が狂った広域住宅街
この複雑怪奇な領域は一度迷い込めば二度と出てこられないとまで言われる

ここを進むのは無茶だ……！
こんなところでモンスターと追いかけっこなんてしたら、
すぐに袋小路に追い詰められてしまう……！
ドドドドド
ビクッ
ぐっ……！
行くしかない……っ！

はっ
はっ……
振り切った……!?

ボン
ボン
ボン

か神様っ
今行き――
ズ
ズ
ズ

逃げ出したい――
怖い
怖い
怖い――
フゥー
フゥー
あ…
ヘ!?

怖い――
ベル君っ！
けどッ
僕は『男』だろう!?

行けよッ！
「女の子」を
置いて――
逃げる
なぁああっ！

ピキィ
――刃こぼれっ!?
僕の攻撃じゃ傷付けられない！

ドサッ
ドサッ
ドサッ

ぱくっ
がぶ
っ!?
このままじゃやられる……っ!
何か…何か手はっ
バタ
バタ
!
ガンッ
――魔石灯(ませきとう)!

うおおお
ベキッ
光量を最大に！
ズガガガガ
神様！
ベル君っ！

ベル
君っ？
っ……！
だめだ……
いくら勇気を振り絞っても――
僕じゃあ神様を守れない……！

同じだ あの時と
ギリ

弱い自分が――こんなにも悔しい!!

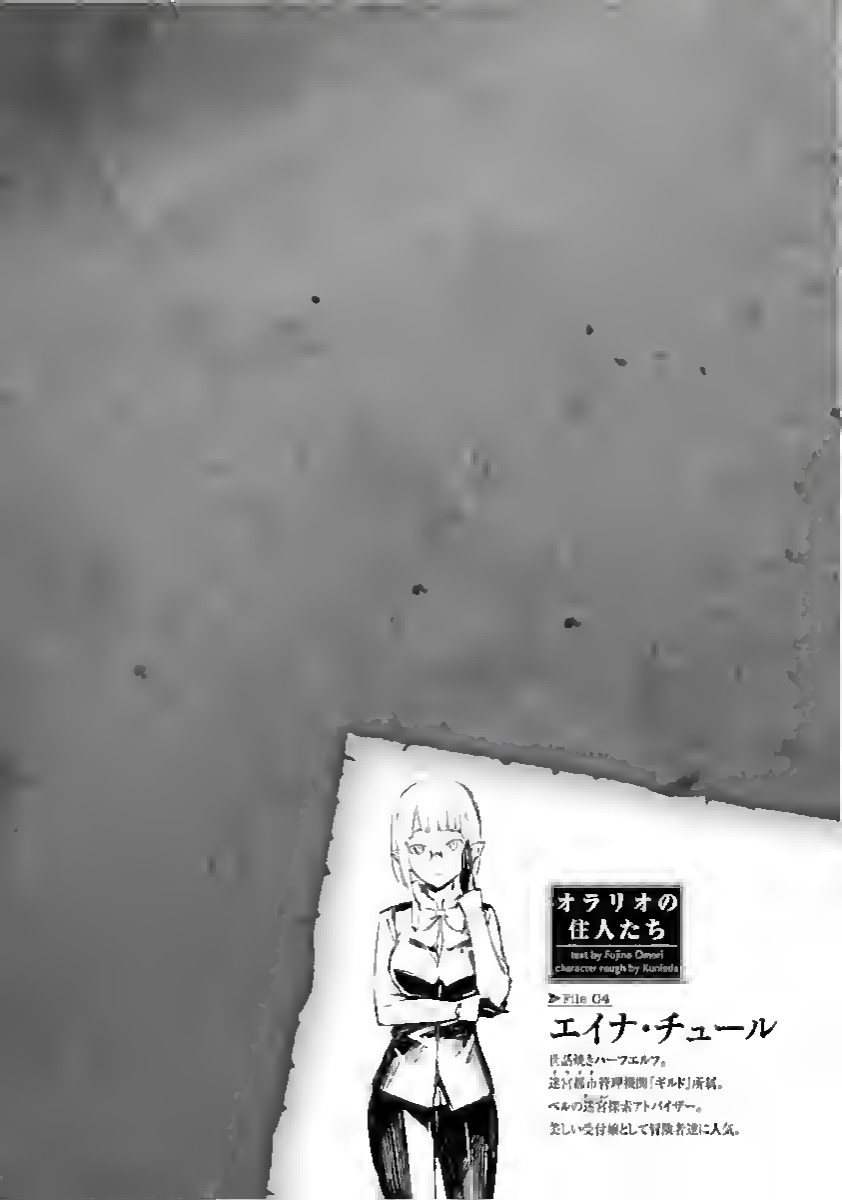
オラリオの住人たち

text by Fujino Omori
character rough by Kunieda

File 03

アイズ・ヴァレンシュタイン

高潔なる高嶺の花。
【ロキ・ファミリア】所属。
【剣姫】の名を冠する迷宮都市
トップクラスの冒険者。
ベルの憧憬の相手。



オラリオの住人たち

text by Fujino Omori
character rough by Kunieda

File 04

エイナ・チュール

世話焼きハーフエルフ。
迷宮都市管理機関「ギルド」所属。
ベルの迷宮探索アドバイザー。
美しい受付嬢として冒険者達に人気。

STEP 10 ▸▸ 家族
ドン
ドン
ドン

わぷっ
ギャ
――僕が守る
必要はないんだ
ベル君？
神様が助かってくれれば
それでいい――
どうしたんだよ……？

……
行きましょう
神様
あ
おいっ……
さあ
ここに
入って
ガィ
ガィ
ああ……
ベル君も
早く！
……
……
ベル君？
……
ごめんなさい
神様

えっ
ベル君!?
神様はそのまま先へ進んでください
僕が時間を稼ぎます
な 何を馬鹿なこと言ってるんだ 君は!
神様 お願いですから…

だめだっ！
許さないぞ
絶対に許さない
ここを開けるんだ
ベル君！
神様……
こんなにも
僕の身を
案じてくれる
神様の気持ちは
嬉しい……
でも もう
時間がない……！
神様まで
モンスターに……っ!!
追いつかれたら
殺される……！

神様……
僕はもう
家族を失いたく
ないです

僕は祖父を——
たった一人の
家族を失っている

祖父はモンスターに殺された
その場にいなかった僕は村の人の一人からその死をただ知らされただけだった
あのときの喪失感
空っぽになってしまった胸の痛み——
多分あの時から僕は心のどこかで家族っていうものに飢えていた

オラリオにやってきたのは
運命の出会いに憧れていたから

祖父との絆を確かめるように
絆が途切れないように
僕は出会いを求めた

それ以外にも――

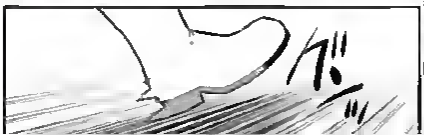
きっと僕は
期待していたのだと思う
神様が与えてくださる
家族という絆に

だから
お願いします――

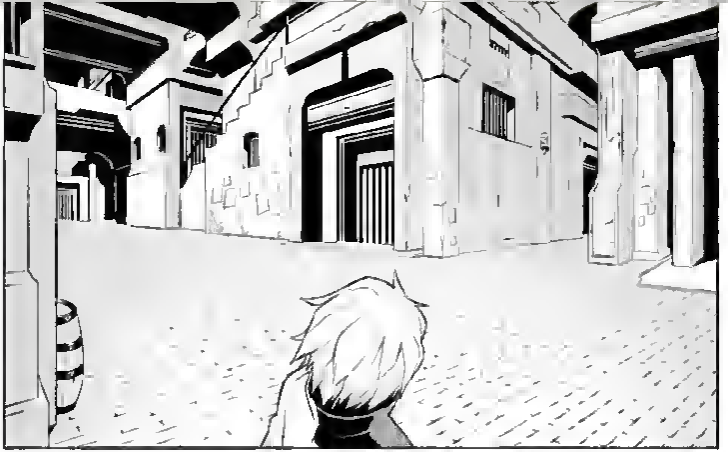
僕に……家族を守らせてください
……！

ここから早く離れて助けを求めてください
っ……ベル君！
ズ

……大丈夫です
僕の敏捷の速さは知ってるでしょう？


ブン

ベル君っ
ばばばば
ごめん……
なさい……っ
ぐぐぐ



よし モンスターは
まだ来ていない！
ゴ…
今のうちに
ミアハ様にもらった
ポーションで——
ギニ
ギニ
グイ
回復っ！

来たっ！！
ルッ
ゴッ
来いこっちだっ！
……
ウ…

よしっ
道標
アリアドネ
道標
道標

恐らくここの住人が
書いたのだろう
矢印の示す先に
出口があるはずだ
それはつまり
矢印の通に進めば
ダイダロスの通りの最深部に
行けるということ
そこまで引きつけられれば
神様はきっと逃げ切れる――！
……

——見られている
ダイダロス通りの住人……じゃない
怖いもの見たさの視線とは違う無遠慮に過ぎる視線……
一体…なんだ…この人……？
ずっと前から僕だけを見ている……
見張られている…いや…まるで観察されているような…
ラーぷッ

ゴオ
!?
ハハハ——

ズザァァ
ドン
ヤバ

鎖!?
速い!

アハハハ

オラリオの住人たち

art by Fujino Omori
character rough by Kumota

▶File 05

フレイヤ

美の神。【フレイヤ・ファミリア】主神。
超越した美貌と完璧なプロポーションを持つ。あらゆる者を惑わすことのできる「美」の化身そのもの。

オラリオの住人たち

text by Fujino Omori
character rough by Kurosaki

➢File 06

ロキ

神界屈指のトリックスター。

【ロキ ファミリア】主神。

迷宮都市屈指の【ファミリア】を統べる女神。

とある理由からヘスティアを敵視する。

己の眷属であるアイズを溺愛。

STEP 11 ▸▸ 神様のナイフ
あぐっ……!?

——だめだ
やっぱり
前が立たない……
勝負にも
なっていない
……！
ギリ
ギリ
ジャラ

死にたくない
心底、死にたくない
気がかりなのは
神様
無事に逃げられたかな…

そういえば
あの時も……
こんな感じ
だったっけ
あの人が
アイズ・
ヴァレンシュタインさんが
助けてくれたのは

今度ばかりは　あの人が助けに来てくれるなんて幸運もないか……
あの人の顔を　もう一度見たかった……
でもちょっとホッとしてる
こんな格好悪い姿二度も晒したくない
ベル君っ！
!?

！
神様……っ!?

そんな
どうして
何で——
来ちゃうんですか……っ！
ウィーン

ドゴ
神様あっ！

ビキ…
ゴゴゴ
ギ
カコン

ゴロ
ゴロ
……か 神様っ
無事ですか!?
あ
ああ
大丈夫だよ……
何でっ
どうしてここに
いるんですか!?
これじゃあ
僕のやったことは
何の意味も……!

……本当にしょうがない子だよなぁ 君は
ボクが 君を置いて逃げ出せるわけないじゃないか
……！
ボクを守りたいだって？ならその言葉そっくり返してあげるよ
それに――

約束してくれただろう？
お願いだから
ボクを一人に
しないでおくれ
あ……
僕は
勝手に諦めて
無責任に
約束を破って
この神を一人に
するところだった

でも……
このままじゃあ
二人とも……！
諦めるにはまだ
早いぜ ベル君
ボクに
考えがある
ゴ
こ これは――
あ
ビクン
へ？

そろ～！
!?
ほぁあああああっ!?
ってちょっ
速い!?
自分だけ先に!?
さっきの感動的な台詞
なんだったんですか!?

し 失礼します 神様！
か 神様ぁーっ!?
ぐぁぁっ!?
うわっ
うわうわわーッ！

すまないベル君っ！
ボクは……
ボクはこんな状況なのに
心から幸せを感じて
しまっているっ……！
なに言ってるんですかあ
まだ僕の方が速い……？
今度こそ振り切って——
逃げ切るんだ

行き止まり……
そん……な……
……
いや
好都合だ
ここに来るまで一本道だった
退路はない……！

ベル君
君が
あのモンスターを
倒すんだ
……っ！

ここで
【ステイタス】更新を
する
今から強化する君の力を
あのモンスターに
ぶつけてやれ！

確かに『ステイタス』を更新してもらえば今よりはマシになるかもしれない
けど……それでも

僕は……
あいつを倒せません

……無理です
神様も見たでしょう？
僕の攻撃 あいつに効かないんです

シルバーバックは11階層に出現するモンスターだ
僕の到達階層とは随分近い階層がある
階層の差はそのまま力の差と言い換えてもいい

攻撃が通用するようになれば――
ダメージを与えることができれば
君はあのモンスターを倒せるかい？
――え？

ベル君 君はいつから
そんな卑屈なやつに
なったんだよ？
ちょっと前までの
脳天気な君は
目標を見つけて
絶対に強くなるって
誓っていた君は
一体どこへ
行ったんだい？
僕は君のこと
信じてるぜ？
こんなの冒険の
内にも入らない
だって
そうだろう？

ヴァレン何某とかいう
化け物みたいな女を
目標にしている
冒険者
ベル・クラネルなら
あんなモンスター
ちょちょいのちょいさ！
ボクが君を
勝たせてやる……
勝たせてみせる！

オラリオの住人たち

text by Fujino Omori
character rough by Kunieda

▶File 07

シル・フローヴァ

食質防衛。
酒場「豊穣の女主人」のウエイトレス。
どこか抜け目のない、
穏和なヒューマンの少女。

オラリオの住人たち

text by Fujino Omori
character rough by Kunieda

▶File 06

ミア・グランド

巨大なドワーフ。
酒場「豊穣の女主人」の女将。
一流冒険者だった過去を持つ
豪傑な人物。

今 君は自分のことを信じてやれないかもしれない
なら代わりに――
君を信じているボクを信用してやってくれないかい？
神様……
うる
はいっ
ぐっ

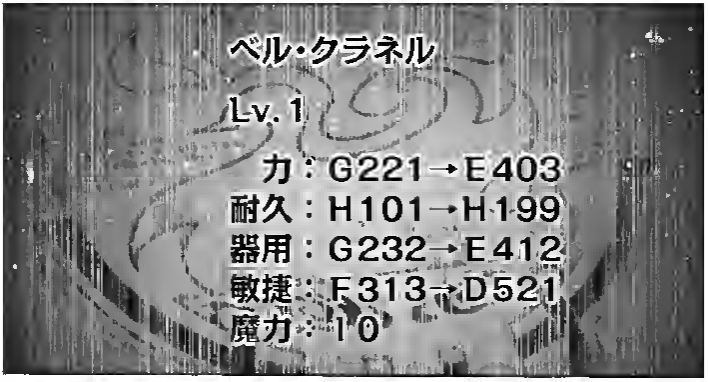
STEP 12▸▸
パンプ・オブ・チキン

速く速く
速くっ！
モンスターが
来る前に
【ステイタス】の
更新を！
いーい ヘスティア？
良く聞きなさい

このナイフはあんたが【神聖文字】を刻んだ通り【ステイタス】が発生している
この武器は生きているのよ
つまり【神の恩恵】を授かった子供達と同じ【経験値】を糧にすることでこの武器も進化していくわ
……まあ あんたの「恩恵」を授かった者にしか使えないから欠陥品もいいとこなんだけど……
使い手が成長すればこの武器も強化されるってことよ

強過ぎず
弱過ぎず
ともに成長していく武器――
今のままじゃあこのナイフはどの武器より貧弱よ
あんたの子……ベル・クラネルに渡った時に初めて息づいてともに育っていく
極端な話使い手が弱いままならナイフもずっと弱いまま
使い手が「最強」に上詰めればこのナイフも「最強」へと至る
勝手に至高へたどり着く武器なんて鍛冶師からしてみれば邪道だわ
もう作らせないでよねこんな武器

問題はっ……！
ベル君の【ステイタス】とこのナイフの威力がどこまで伸びるかだ……！
ボイーン
神様来ました！
っ！
できた！


ベル・クラネル
Lv.1
力：G221→E403
耐久：H101→H199
器用：G232→E412
敏捷：F313→D521
魔力：10

全アビリティ熟練度上昇値トータル600オーバー!?
天井知らずの上昇値だ……っ！
おのれ～～～ヴァレン何某(なにがし)～～～っ！
でもこれならっ…！
後はベル君次第！
さあ行くんだ！

本当に僕がシルバーバックを倒せるのか――
はい!!
ドン
ドン
ドン

みじめで情けない
自分が信じられなくても
神様の言葉なら——
信じられる!!

――いーいベル君？
これから言うことは参考程度に聞いておいて
命知らずなまねしちゃ絶対にダメだよ？
どんな強いモンスターでもモンスターである限り回避できない弱点を持ってるの
そこを突かれたらたとえドラゴンでもやられちゃう
正真正銘モンスターの泣きどころだよ
たった一撃
相手の皮膚を貫けるなら理論上あらゆるモンスターを倒すことが可能なんだ

そう どんなモンスターも
その胸の中に隠し持ってる
――魔石
ギャッ!?

突撃槍
ペネトレイション
あああ

痛み!!

ぐえっ!?
いいっだっ!
ゴロ
ゴロ
うわっ
ぐぅ…
いったた……

？
ボロ
ボロ
ボロ
シュウウ
シュウウ
カラン
ボロ
ボロ

はっ
はっ
はっ
う
うおおおおお――ッッ!!
倒したっ!
モンスターを倒したぞォ――っ!!

やりました
神さ――
や……
やった……？
え……？

神様っ!?
どうしたんですか!?
大丈夫ですか神様!
……!

ヘスティアには
悪いことをしたけれど・・・
もう
始(はじ)まっちゃうわね

おめでとう
まだ少し
情けないけれど……
ふふっ
ええ
格好良かったわ
また遊びましょう
――ベル

オラリオの住人たち

text by Fujino Omori
character rough by Kunieda

File 09

ヘファイストス

鍛冶神。【ヘファイストス・ファミリア】主神。
ヘスティアとは大昇から長い親交を持つ女神。
鍛冶師としての腕は「神匠」と呼ばれるほど。

オラリオの住人たち

text by Fujino Omori
character rough by Kumota

➤File 10

ミィシャ・フロット

ヒューマンの受付嬢。ギルド所属。
エイナの友人で、彼女とは学区からの付き合い。
やや抜けた一面も。

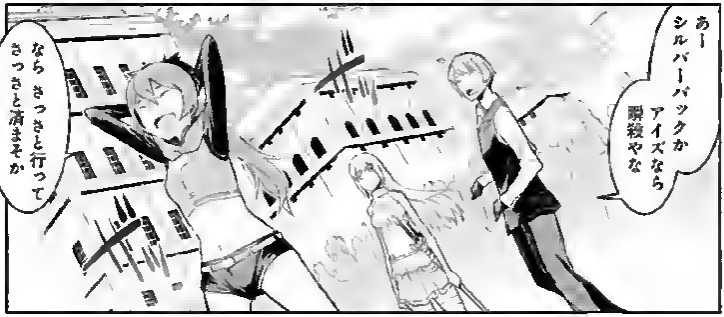
STEP 13▸▸ 雄たけび

はい……
ん
終わり？

なんや
拍子抜けやなぁ
どこも大事には
ならんかった
みたいやし……
なんか誰かに
踊らされてた
感があるわ

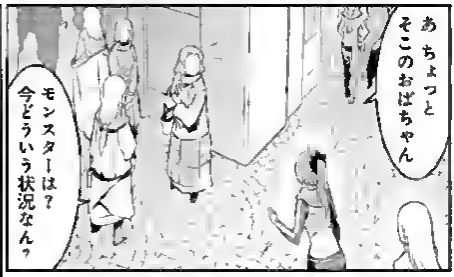
確かに
逃げ出したモンスター達は
闘技場の周辺を
徘徊していただけ
まるで
何かを探すように

これで全部やったっけ？
いえ……あと一体
シルバーバックが実のメインストリートに向かったようで……


あー シルバーバックかアイズなら瞬殺やな
ならさっさと行ってさっさと済ますか

実のメインストリート

ああん？
なんや えらい
にぎわっとるな
もう
終わったんか？


あちょっと
そこのおばちゃん
モンスターは？
今どういう状況なん？

ちょっ
ちょい待ち！
男の子って
誰や!?
なんだ知らない
のかい？

それがねぇ
男の子がモンスターを
やっつけたらしいんだよ！
ダイダロス通りの連中が
伝えに来たんだけど
迷路の奥に追い詰めて
一発で仕留めちゃったん
だってさ！

冒険者の少年だよ
赤っぽい目をして白い髪で……
そう兎っぽい！
はぁ……？
白い髪……？
そういえば朝方お店の窓から見かけたような気がする……
私のせいで傷付けてしまった
深紅の瞳を持つ白髪の男の子
すみませんっ通してください！

間違いない

私がミノタウロスから
助けた男の子

あの日 みんなに馬鹿にされ
悔し涙を流していたあの子が……
どんな芸当を使って
格上のモンスターを倒したのか
……
とにかく
一度会って 謝りたい
……おめでとう
シルバーバックを
倒した……？
……本当に
あの子は
まだ駆け出しの冒険者だった
シルバーバックには
逆立ちしても
かなわないはず…

怪物祭で起きた騒動は
鎮静化された
各「ファミリア」やギルドの
迅速な対処が被害を最小限に
とどめたらしい
騒動を起こした犯人は
まだ捕まっておらず
手がかりも
掴めないとのこと
犯人が何を
したかったのか
わからないまま
事件は収束
していった
…シルさん
神様は……!?

大丈夫です
ただの過労
みたいですから
えっと
それじゃあ？
はい
命に別状は
ありません
良かった……
急に倒れちゃったから
心配で心配で
はあぁ…
ふふ
お疲れ様です
今日は
すみませんでした
私がお財布を
忘れたせいで
災難に巻き込まれて
しまって……

いいえっ
そんなっ
シルさんのせいじゃ
ないですよ！

でも 今回の騒ぎで
街のみなさんは
言ってました
あの冒険者は…
ベルさんは勇敢だって
えっ……

私も
そう思います
実は私 大通りでベルさんが
戦っているところを
見たんですけど……

ゆ 勇敢だなんてっ！
僕 逃げ回ってた
だけですしっ！

それでも格好良かったですよ？
えっ？
……不謹慎ですけど
あの時モンスターへ立ち向かっていたベルさんに……
私見惚れちゃってました
準備があるからこれで失礼させてもらいますね
え
あ
はい……

それじゃあ
ベルさん また
……
からかわれたのかな……
!?
か 神様っ!?
しゃ

神様
どうしたんですか！
一体何が
あったんですか!?
ああ ベル君……
いや 起き上がろうと
したら力が
入らなくてね……
バッ
ち 力が
入らないって……
あの 過労って
聞いてるんですけど
この3日間
何があったんですか？
土下座だよ
頑固女神の前で土下座を
30時間続けるという
耐久レースを……
ぷる
ぷる
さ 30時間……!?
ご 拷問なんですか
ドゲザって!?

いや 奥義さ
土下座は
最終奥義なんだよ…
はは あ……？
いや 奥義でもなんでも
いいんですけど……
でも どうして
そんなことを……
神様 パーティーに
行ったんじゃ
なかったんですか？
……これ
えっ？
あ そういえば
このナイフどうし……
……!?
ヘファイストス！
か 神様
これって……
HΦDiΦLOS

ごめんね
心配かけちゃって
……でもボク 見ている
だけは嫌だったんだ
養われるだけじゃあ……
助けられてばかり
じゃあ 嫌なんだよ
知ってたよ
君がヘファイストスの
店の陳列窓にいつも顔を
張り付けていたのを
君の欲しがってたものじゃ
ないだろうけど……
でもコレ
世界に一つしか
ないんだ
すごいだろ？
そんな でも
だって……！
ヘファイストスの武器は
すごく高価でっ……
お お金はっ……!?
大丈夫 ちゃんと話は
つけてきたから

強くなりたいんだろ？
言ったじゃないか
手を貸すって
これくらいのお節介はきせてくれよ
誰よりも
何よりも
ボクは君の力になりたいんだよ
……だってボクは
君のことが好きだから

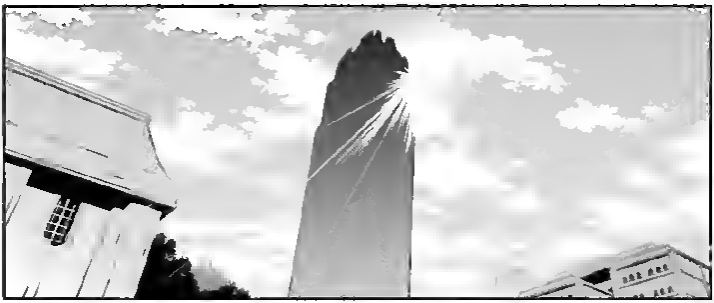
いつだって
頼ってくれよ
ポロロ
大丈夫
なんていったって
ボクは君の神様なんだぜ？

神様あーッ!!

あぁ 良かった……
これでボク達は
相思相愛だ――

それじゃあ神様
行ってきます
バタン
ギィ…
ん……
ん…んぅ
……おぉ？
……
ハチ…
……ベル君
……
ムク
シーン

……行ってらっしゃい



さあ
7階層だ……！

オラリオの住人たち

Text by Fujino Omori
Character rough by Kuroiwa

▶File 11

ベート・ローガ

獣人（ウェアウルフ）の狼人。【ロキ ファミリア】所属。
過剰なまでの実力主義者であり、
下級の冒険者をよく見下している。
中でも強い女は好む。

オラリオの住人たち

text by Fujino Omori
character rough by Kunieda

File 12

リヴェリア・リヨス・アールヴ

気高い王族、【ロキ・ファミリア】副首領。
下界の住人でありながら、
多くの女神を惹える美貌を持つ。
名実ともに迷宮都市最強の魔導士。

おい 何してやがる！
とっとと しろ！
荷物を運ぶくらいで ちんたらしやがって
この能無し サポーターが！
……はい すみません
ったく 稼に仕事もこなせねえ 足手纏いに くれてやる 報酬なんざねえぞ！
……

まったく 誰だよ
こんな馬の骨
拾ってきたのは
おとりにしか
使えないね
はは そりゃ
そうだ!!

いいか
モンスターに囲まれた
時くらいはしっかり
仕事しろよ——
役立たず(サポーター)?

——なるほど
本当に見限るのに
困らない奴等だ
冒険者というものは

7階層の強敵！
新米殺し
キラーアント……
時間を与えれば
仲間を呼ばれて
しまう
キチ
キチ
キチ
よしっ！
倒すなら一速攻っ
キル

ギィィ
ギィィ
ふっ！

キッ!
ゴッ
ズザッ

ビュバッ
――うんっ
いい！
これがヘファイストスの武器!!
ありがとう　神様

ギルド本部
ななあかあいそお～？
キミは……
は　はひっ!?
私が言ったこと全っ然っわかってないじゃない!!
7階層!?迷閾にもほどがあるよ！
ごごごめんなさいいいっ!?

一週間とちょっと前ミノタウロスに殺されかけたのは
一体誰だったかな!?
ぼ 僕ですっ!?
じゃあなんでキミは下層に降りるの!
痛い目に遭ってもわからないかなベル君は!
すみませぇん……
危機感が足りない!絶対に足りない!
今日はその心構え徹底的に矯正して――
ちょま 待ってください エイナさんっ!?
5階層からはダンジョンの傾向が様変わりして ぐっと難易度が増す……
冒険者になって半月程度の未熟な新米じゃ 自殺行為!
キミは……

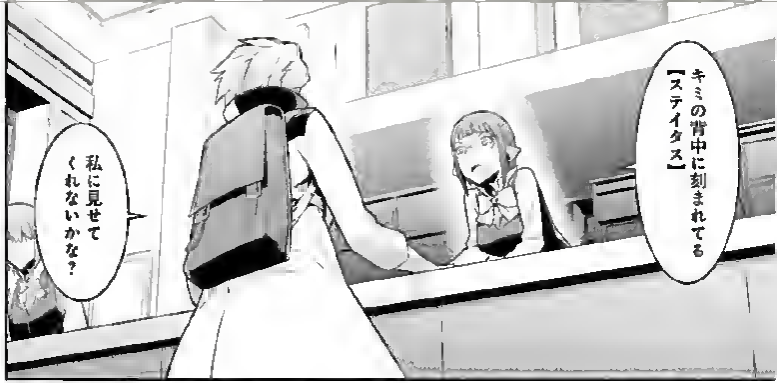
そのっ 僕っ
あれから結構
成長したんですよ！
ゴゴゴ
冒険者になって半月
アビリティ評価Eがやっとのくせにどの口が言うのかな……？
ほ 本当なんです！
僕の【ステイタス】アビリティがいくつかEまで上がったんです!?
え
そ そんな出まかせ言ったって……
本当です 本当なんです！
なんかこの頃伸び盛りっていうか……！
……E？
ぱち
くりっ

……
この日――
嘘はついてないっ!?

……ちょっと
待って
……本当に
E?

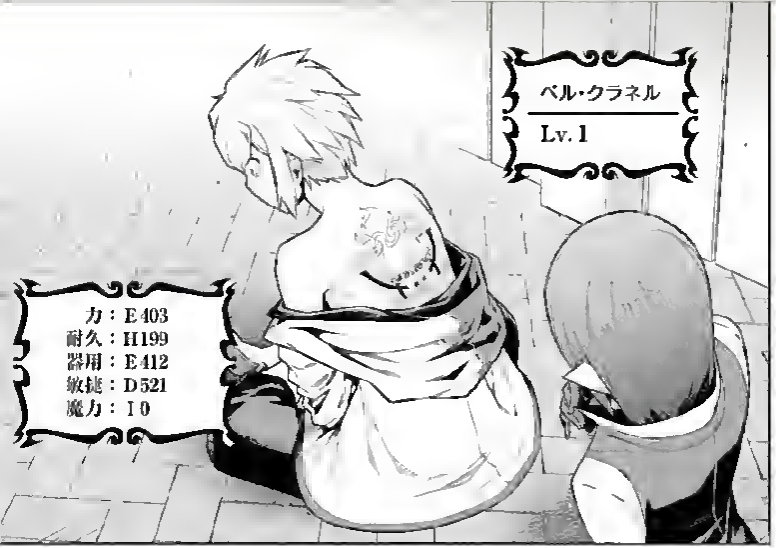
ダンジョンにもぐりはじめ
たった半月の冒険者なら
妥当な能力ラインはHだ
それだって
腕の良い者に限った話……
E
F
H

Gならもうでき過ぎで
F以上というのは……
いくらなんでも早過ぎる
……ねぇ
ベル君
は、はい?


キミの背中に刻まれてる【ステイタス】
私に見せてくれないかな？

えっ……
でも【ステイタス】って一番ハラしちゃいけないことですよね……？
誰にも話さないと約束する
魔法やスキルのスロットは見ないから！
ね？お願いっ！
ぱちん
僕はスキルも魔法も発現してないですからそれはいいですけど……

エイナさんがそこまで言うなら……
えっとじゃあ部屋の隅で……
……脱ぎますよ？
顔を赤くするくらいならいちいち確認しないっ！
私の方も恥ずかしくなっちゃうよ！
ヤァァ…


ベル・クラネル
Lv.1
力：E403
耐久：H199
器用：E412
敏捷：D521
魔力：I0

うそ……
これは7階層でも十分足れを取らない能力内容だ
ベル君の『成長』はあまりにも度を超えている……！
どうしてこれほど――

もしかして――スキル？
能力の開花がこの型破りな成長力として発現したの？

ちょっと
だけなら……
見ても…
ぐぐっ
ふぃ
……ううん 駄目だ
やっぱりこの先は
いけないよね……
あの！……
まだですか？
あ……
も もういいよ！
……この能力値（ステイタス）なら
7階層進出を
許可しないとね
でも そうなると——
じろ
じろ
……

――うぅん……
7階層に行くには
さすがに貧相な防具だ……
うわー
な なんですかっ？
ベル君
はいはい？
明日 予定
空いてるかな？
にこー

誰かとこんな風に
買い物に行くなんて
久しぶりだなぁ
そう なんですか？
エイナさんなら
放っておかれない
と思うんですけど
……その
男の人だったら
特に
ふふ
上手だね
ベル君
でも本当だよ
ギルドに入ってからは
ずっと仕事一筋だったから
エイナさんの私服姿…
……あの
今日はどこまで
行くんですか？
このままだと
ダンジョンに
着いちゃいますけど
そう――

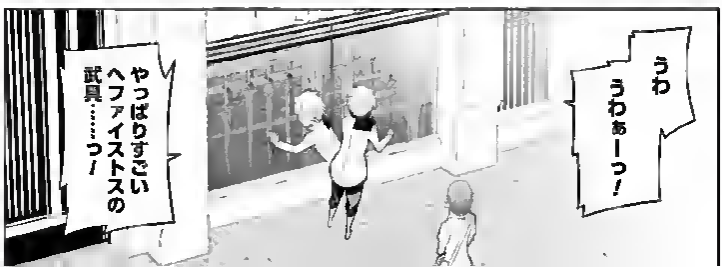
今日行くところは
――ダンジョン
正確には
その上にある
摩天楼だね
ええっ!?
バベルって冒険者用の
シャワールームとか
公共施設があるだけじゃ……
ギルドが所有してるバベルは
他にも簡易食堂や治療施設
換金所があるんだよ
そして 多くの
商業系【ファミリア】が
ここに出店してる
【ヘファイストス・ファミリア】
なんかはその代表だね
いやいや
ヘファイストス
……

ベル君は【ヘファイストス・ファミリア】についてどれくらい知ってる？
えっと武具を扱う大人気【ファミリア】で
すごく品の質が高くて
高いけど冒険者なら誰でも欲しがるってことくらいですね…
うん間違ってないね
ちなみにこれから行くのがその【ヘファイストス・ファミリア】のテナントだから
無理です！僕そんな大金持ってないですからっ！
まあまあぐずぐず言わない！
えぇ!?
ドンッ
あっ

ごめんな…
あの小さな体で
大きな荷物を運んでいる――
きっと「サポーター」だ。
……
さあ行くよ
ベル君♥
エイナさん！
てつ手を
離して…
せっかくだから
鍛冶師についても
話しておこうか
鍛冶師って
いうのは――
ちょっちょっと
エ エイナ
さあああああんっ!?

ここは バベル4階
【ヘファイストス・ファミリア】
武器・防具店フロアだよ
この階から8階まで全部
【ヘファイストス・ファミリア】
のテナントなんだから

お目当ての店は
もっと上の階
なんだけどね
せっかくだから
寄って行こう


うわ
うわぁーっ！
やっぱりすごい
ヘファイストスの
武具……っ！

ん？
トリアアン
3000002
……3000万ヴァリス!?
たっか!!
僕の持ってるヘファイストス製のナイフ
神統は世界に一つしかないだなんて言っていたけど……
一体いくらしたんだろう？
いらっしゃいませー！
今日はなんの御用でしょうかお客様！
あいや僕は……
――って

あっ…

……ここで何やってるんですか
神様!?

特別章
女神のバイト事情

イラスト：キスダスズヒト

怪物祭の事件から、翌日。

ベルが意気揚々と新武器《ヘスティア・ナイフ》をもってダンジョンのモンスターをばったばったと倒していた裏で。

とある二柱の神は相対していた。

「それじゃあ、約束通りキリキリ働いてもらうわよ」

「ど、どうかお手柔らかに……」

腕を組み仁王立ちする鍛冶神、ヘファイストスを目の前に、ヘスティアは言葉尻をすぼめてしまう。

【ヘファイストス・ファミリア】のホーム内。カーテンによって日の光が遮られ薄暗さに包まれる執務室は空気が張り詰めており、どこか威圧的だった。

震えそうになるぎこちない笑みを必死になって浮かべるヘスティアに対し、紅髪紅眼の女神は彼女を見下すかのように顎を上げ、静かに鼻を鳴らす。

「お手柔らかに？　不相応の借金を組んだ向こう見ずな馬鹿者にかける慈悲なんて、生憎私は持ち合わせてないわ」

冷徹な神友の物言いに救いは残されていないと、ヘスティアは怯えとともに悟った。

先日のことである。ヘスティアは己の【ファミリア】の団員であるベルの決意を応援するために、鍛冶の大派閥【ヘファイストス・ファミリア】からとある武器を購入していた。恐らくは天界にて神匠と謳われた目の前の女神にしか作れない、特殊な製法で生み出されたこの世界でたった一つの武器を、だ。

無論、伴った代償は大きい。支払い能力の限界を優に超えた――それこそ武器を贈られたベルが聞けば卒倒するほどの――莫大な額の借金をヘスティアは背負っている。

現在はその借金を返済するための具体的な内容、もとい課せられる指令をヘファイストスの口から直接下されるところだった。

「あんたにはうちの支店で下っ端として勤めてもらうわ。日ごとの日当は借金返済に全額当てるから、実質賃金はなし。今やっているバイトとの折り合いはつけさせてあげるから、食い扶持を稼ぎたいんなら、どっちでもしっかりと働くのよ」

「ううっ……」

「労働時間は原則八時間。残業代はなし。休暇は……月二日よ」

「鬼っ、悪魔ぁあああああああああああああああああああっ!?」

泣き叫ぶヘスティア。

「何言ってるのよ、今のあんたに休む暇なんてある筈ないでしょう？　こうでもしなきゃ期限内に借金の返済なんて、夢のまた夢だわ」

「そ、そうだとしてもっ……ボ、ボクを過労死させる気なのかい、ヘファイストス⁉」
「否定しないわ」
「してくれよ⁉」
「あんたは目を離すとすぐ楽をしようとだらけるから、ちょうどいい機会よ。これからは馬車馬のように働きなさい」
ヘスティアの生殺与奪の権を握るヘファイストスは底冷えするような声音でそう告げる。
大きな眼帯にかかった紅の前髪を軽く払い、あらわになっている左眼を細めた。
「『眷族への愛が本物だって身をもって証明してやる』……あんたの言葉よ。しっかり私に証明してちょうだいね、あんたのア・イ・を」
「く、くそぉおおお

これまで経験したことのない忙しさだ――は、その小さな体からすっかり余裕というものを奪ってしまっている。

制服は可愛いんだけどなぁ、と着用している紅色のエプロンタイプの接客服を見下ろしながら、溜息交じりに思う。

「ぶつぶつ言ってねえで働け、新入り。まだ二日目だぞ、もうへばったのか」

己より頭三つ分は身の丈のあるハーフドワーフの店長に注意され、「はぁい……」と力のない返事をする。甘やかすなと告げられているのか、従業員である周囲の亜人達は、女神を欠片も敬いもせず顎使してくる。ヘファイストスはヘスティアの扱いを相当徹底させているようだ。ともすれば前のめりに倒れ込みそうな体を何とか伸ばし、顔を上げて、冒険者の往来が激しい店頭付近を眺める。

ああ、また客が来た。今度は恋人同士か。

ヒューマンの男の子にハーフエルフの娘。いいなぁ、羨ましいなぁ、自分も眷族と一緒にお出かけしたいなぁ――そんなことを考えながら足を店頭へ向ける。

その白髪のヒューマンの少年に対し、何だか見覚えがあるなー、と疲れた頭で朧気な思考を働かせながら、ヘスティアは、この二日で叩き込まれた店員スマイルを浮かべた。

「いらっしゃいませー！　今日は何の御用でしょうか、お客様！」

コミックス2巻お買い上げありがとうございます！
vsシルバーバック戦で、ベルくんの格好良いところ、お見せできたのではないでしょうか。
新章突入、新ヒロイン登場、新しい階層……これからもどんどん「ダンまち」ワールドを盛り上げていけたら嬉しいです。

この見開きイラストは、妄想世界「ダンまち学園」、きっと部活動をメインにした青春学園ハーレムものとかになるんですよ　！

それではまた、次巻もよろしくお願いします。

九二枝